

気持ちが落ち着く、明るく開放的な保健室

梅津中学校は、嵐山近くに位置し、開校45年、生徒数約400人の中規模校です。学校教育目標は、「自と他を大切にできる豊かな人間性と自律して社会を生き抜く力の育成」です。

近くに有栖川が流れ、落ち着いた住宅街にある学校取材しました。



外から見た

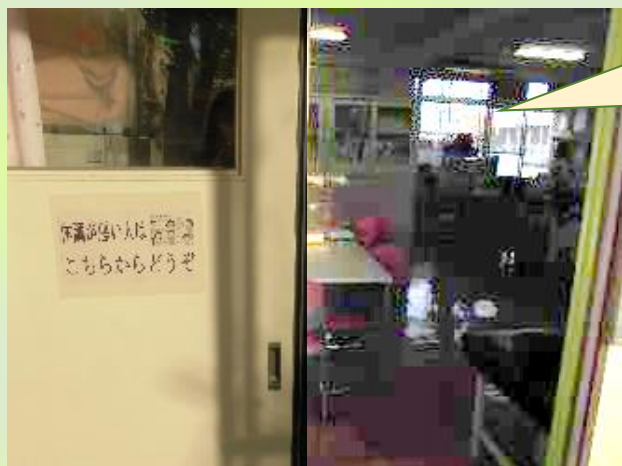
保健室の様子

入口扉にはカーテンがかけられており、必要に応じてプライバシーに配慮した対応をすることができます。

現在は感染症対策のため、外科と内科で入口が分けられています。



こちらは外科用の入口です。



「体調が悪い人はこちらからどうぞ」。こちらは内科用の入口です。



入口ドア前の棚に消毒用品などが置かれていて、必要な時、すぐに使うことができます。

保健室の中の様子

整理整頓され、すっきり、広々とした保健室です。窓は運動場に面していて日当たりがよく、生徒たちの様子がよく見えます。

壁や巾木、窓枠などが淡い緑色に塗られていて、同系色の椅子やブラインドなどとも統一感があるインテリアで、心が和みます。



救急処置コーナー

外科用入口のそばにある救急処置コーナーには、必要な物品が使いやすく揃えてあります。壁には、学校周辺の医療機関地図が掲示してあり、用途別に3つの救急持ち出しセットが用意されています。

内科用

救急持ち出しセット



聴診器、パルスオキシメータ、ペンライト、
血圧計、人工呼吸用携帯マスクが入っています。

嘔吐処理用

救急持ち出しセット



新聞紙、マスク、使い捨て手袋、ビニール袋、ペーパータオルなどに加えて、使用時に希釈できるように塩素系漂白剤も入っています。

外科用

救急持ち出しセット



三角巾、ガーゼ、タオル、ビニール袋、使い捨て手袋など、出血時などに対応できる物品が入っています。

生徒と取り組む保健指導

臨時休業や感染症対策に伴って保健指導の機会が限られている中、保健委員会の生徒と協力して、手洗いについての保健指導に取り組んでいます。

ブラックライトに反応する蛍光剤を手に塗り込んだ後、手洗いの方法や時間で洗い残しに差がみられるのか実験を行い、結果をスライドショーの形にして、昼食時に放映しました。

プレゼンテーション資料に文字で内容を記すだけでなく、保健委員の生徒がナレーションを担当しています。感染症対策のため食事中の会話を控えていることもあり、生徒たちは映像を熱心に見ていたようです。

また、使用した蛍光剤とブラックライトは校区内の小学校でも活用し、小中連携して保健指導を実施されています。

